

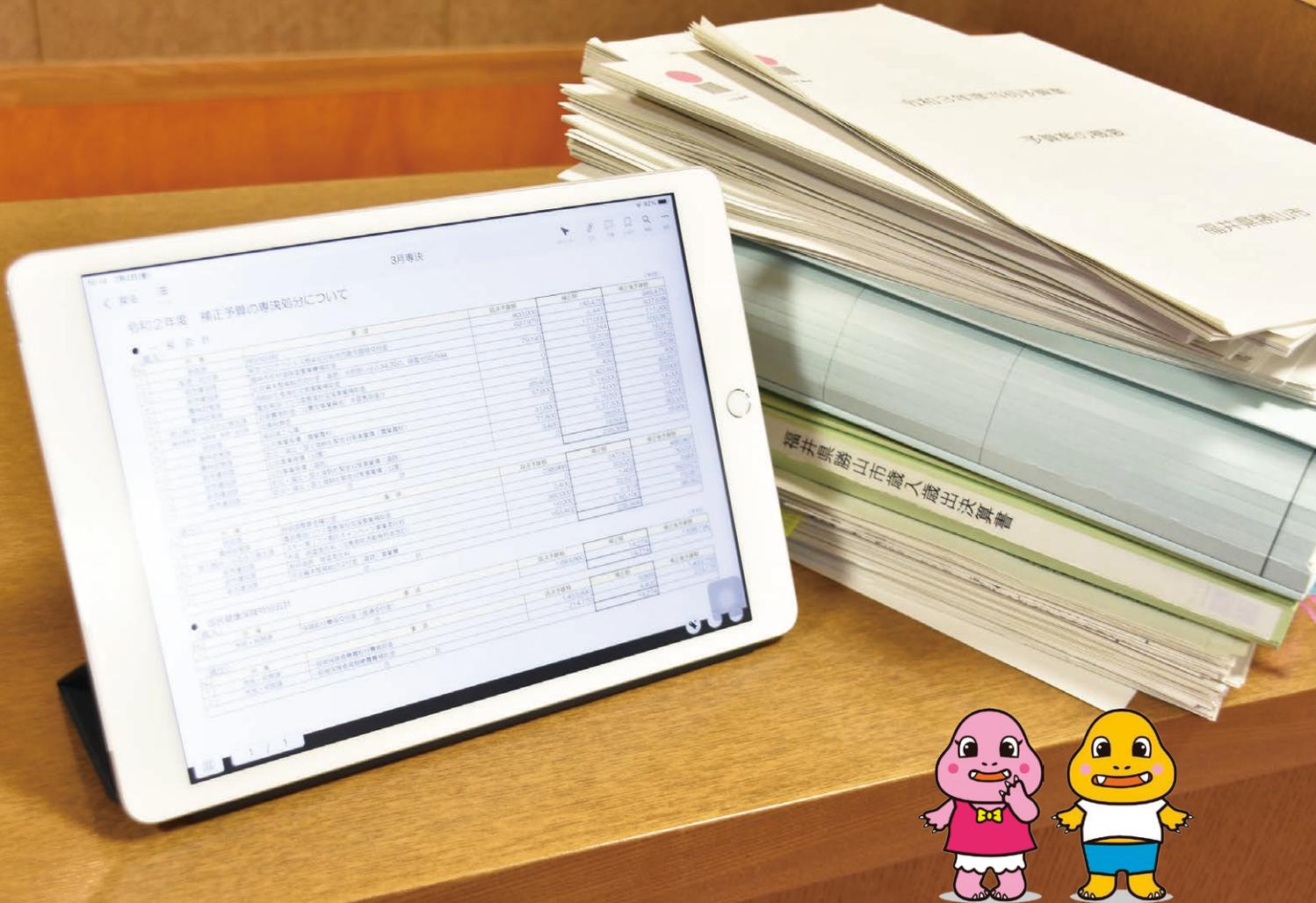


かつやま 6月定例会報告
2021.7.21

議会だより No.80



↑
議会中継動画は
コチラから



これまでは膨大な数の資料がありましたが、
4月からタブレットを活用してペーパーレスに！

■ 常任委員会・特別委員会報告

詳細は 10～11ページ

■ 一般質問

詳細は 3～9ページ

■ 定例会審議結果・政務活動費報告

詳細は 2ページ

6月

定例会

(6月8日～24日)



定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案
 ■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和3年度勝山市一般会計補正予算(第2号)	予 算	可 決
議案第2号	令和3年度勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	建 設 産 業	可 決
議案第3号	勝山市職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第4号	除雪機の購入契約の締結について	総務文教厚生	可 決
議案第5号	勝山市附属機関の設置に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第6号	勝山市介護保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第7号	勝山市道路線の認定について	建 設 産 業	可 決
議案第8号	損害賠償の額を定めることについて	建 設 産 業	可 決
議案第9号	令和2年度勝山市一般会計補正予算(第9号)に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認
議案第10号	令和3年度勝山市一般会計補正予算(第1号)に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認
議案第11号	令和2年度勝山市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承 認
議案第12号	勝山市税条例等の一部改正に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承 認
議案第13号	勝山市固定資産評価員の選任について	—	同 意
議案第14号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第15号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第16号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第17号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第18号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第19号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第20号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第21号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第22号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第23号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第24号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第25号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議案第26号★	勝山市議会会議規則の一部改正について	—	可 決
意見書案第1号★	新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める意見書	—	可 決

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳情第1号	新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情書	建 設 産 業	趣 旨 採 択
陳情第2号	市道認定の陳情書	建 設 産 業	採 択
陳情第3号	日本政府に「核兵器禁止条約」への署名と批准を求める意見書の提出に関する陳情	総務文教厚生	不 採 択

◆ 表決結果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 名	総投票数	投票数		松本聖一郎	中山光平	安岡孝一	富士根信子	高岡清一	久保幸治	竹内和順	吉田清隆	下牧一郎	近藤栄紀	下道恵子	丸山忠男	松山信裕	帰山寿憲	乾 章俊	山田安信
		賛成票	反対票																
議案第1号について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×
陳情第3号について	15	2	13	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	○

○=賛成、×=反対、=不在、議長=議長職(通常は採決に加わらない)

令和2年度政務活動費 各会派の収支状況

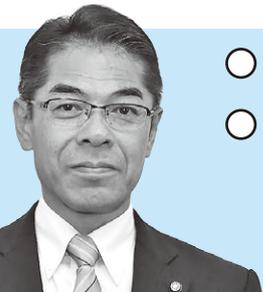
令和2年度の政務活動費について、会派ごとの支出状況を報告します。

令和2年度は、議員1人当たり月額3万円、総額567万円の政務活動費が交付されましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されたこともあり、約233万円が未使用額として市に返還されました。

※0円の会派は、預金利息の発生しない決済用預金口座で管理しています。なお、政務活動費取扱預金利息についても市に返還しています。

		新風会・公明 7名	市政会 4名	市民の会 3名	日本共産党 2名
収入	政務活動費	2,520,000円	1,440,000円	1,080,000円	720,000円
	預金利息※	0円	3円	0円	2円
	合計	2,520,000円	1,440,003円	1,080,000円	720,002円
支出	調査研究費	0円	0円	0円	0円
	研修費	65,120円	0円	0円	0円
	広報費	957,021円	120,237円	103,000円	460,352円
	広報費	0円	0円	1,500円	0円
	要請・陳情活動費	0円	0円	0円	0円
	会議費	0円	0円	0円	0円
	資料作成費	556,459円	128,371円	62,236円	63,882円
	資料購入費	404,157円	281,306円	65,200円	160,598円
	人件費	0円	0円	0円	0円
	事務所費	0円	0円	0円	0円
合計	1,982,757円	529,914円	231,936円	684,832円	
政務活動費充当上限額		1,982,757円	529,914円	231,936円	684,832円
残 額 (返還額)		537,243円	910,086円	848,064円	35,168円
預金利息返還額		0円	3円	0円	2円

新風会・公明
竹内和順
議員



○ 勝山市民憲章の制定について
○ 道の駅隣接地への企業誘致について

その他の質問

- ・水上市政の発信力について
- ・勝山市立中学校再編計画（案）について

問 コロナ禍でなくとも、最近、地域社会の人と人の結びつきが薄れている。しかし、生活の場となる地域社会での営みには、地域住民の連携、住みよい地域社会づくりが肝要と考える。

答 勝山市民一人ひとりが互いに横のつながりをもつことが求められ、それを理念としているのが市民憲章である。勝山市民憲章の制定について、市の考えを伺う。

答 少子高齢化が進む中、地域コミュニティの活力を維持するためには、住民が互いに横のつながりをもって安全安心な地域を築こうとする結びつきの力が、今後ますます重要になると考える。

そのためにも、市民一人ひとりが共通して持つべき目指す市民像を掲げ、それを地域や日常生活の中に浸透させていくことが必要であると考え、第6次勝山市総合計画の策定作業の中でまとめていく。

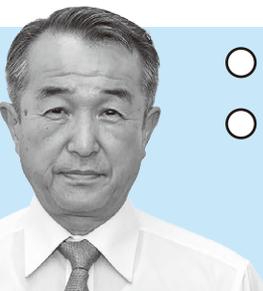
問 道の駅の隣接地を商業施設誘致、および企業誘致を兼ねた産業団地の整備、宿泊施設の誘致等、一体的開発事業として土地開発公社に委託した。

答 現在、コロナ禍にあって、地方がクローズアップされている。また、県もこのほど新制度を打ち出して企業誘致の後押しをしてくれている。企業誘致等の進捗状況を伺う。

答 誘致の現状については、飲食、物販、収穫体験、宿泊施設などの提供を考えている複数の民間事業者からの進出要望を受け、現在協議を進めており、民間事業者のスピード感に対応するため、早急に事業者を決定したいと考えている。

また、そのために県の補助事業の最大限の活用を図っていく。
議員「紹介の県の企業誘致に関する新制度については、道の駅隣接地に限らず、市全体の企業誘致活動に活かしていきたい。」

新風会・公明
安岡孝一
議員



○ 小規模事業者の支援について
○ すべての人にデジタル化の恩恵をについて

その他の質問

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種について
- ・男女共同参画社会と女性活躍の推進について

問 長引くコロナ禍で、小規模事業者に大きな影響が出ている。とりわけ飲食業者、仕出し業者（魚屋さん）、宿泊業者の影響は深刻である。福井県独自の緊急事態宣言の発出で、客足が遠のいている。

答 市では、バス・タクシーの利用券を無料配布して、バス・タクシー会社を支援しながら、地域経済の活性化を図り、2回目の「勝ち山飯食べて応援クーポン」や市独自の「プレミアム付きお食事券（第2弾）」の発行を予定している。

答 しかし、長引くコロナ禍で深刻な影響を受けている事業者に対して、今こそ政策を総動員していくべき時ではないか。勝山市の経済の基盤を担う事業者をどのように下支えをしていくのか、市の所見を伺う。

答 6月補正において、経済的に特に大きく影響を受けている事業者に向けた新たな支援策を計上している。ホームページ等で周知するとともに、勝山商工会議所と連携して情報発信し

ていく。

問 デジタル庁が本年9月1日に発足することになった。新たな技術を積極的に導入し、デジタルトランスフォーメーション（DX）主体に改革を進めようとするものと考えている。

答 しかし、現状では情報格差が生じてしまい、高齢者がデジタル化の恩恵を受けられないと思う。高齢者が楽しくスマホやインターネットを使いこなし、若い世代と同様にデジタル化の恩恵を受けることが大事ではないか。

答 行政のデジタル化で高齢者が取り残されないよう、情報格差の解消に向けた施策の検討をお願いしたい。
答 総務省は、本年6月から全国約1800ヶ所を中心に高齢者のデジタル活用を支援する講習会を開始するなど、幅広い取り組みを促していくとしている。

国の施策と連携し、「誰ひとり取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現に取り組んでいく。

○ ヤングケアラーについて

その他の質問

- ・主要地方道篠尾勝山線整備方針について
- ・県立大学新学部誘致状況について

新風会・公明
吉田清隆
議員



問 ヤングケアラーとは、「若い」と「世話する人」の英語を組み合わせた言葉で、大人が担う家事や病気や障害がある家族の介護を日常的に行っている18歳未満の子供を指し、幼い弟妹の世話や日本語が話せない家族の通訳を務めている子供も含まれる。自由な時間が取れず、家業や進路に影響を及ぼすだけでなく、健全な発育や人間関係の構築を阻むとされている。

答 市内小中学校において、保護者との懇談や日頃の児童生徒の様子から、ヤングケアラーに該当する児童生徒は把握できていないが、幼い兄弟の世話や家事を行っている児童生徒が数名いるという報告を受けている。

「世話している家族がいる」とした中学生が57%（約17人に1人）、高校生が41%（約24人に1人）で、クラスに1〜2人いる計算となる。生徒からは「夜遅くまで世話して授業に集中できない」「少し余裕が欲しい」「先生に事情を説明しても表面的なことを言われ、欠席や遅刻が家庭の事情でも内申点で跳ね返ってくる」との意見がある。

勝山市は「子育て日本一」をうたっている。全国に先駆けてヤングケアラーの支援を充実し、子供の苦悩の気持ちを少しでも軽減できないか。勝山市のヤングケアラーの把握状況と支援に対する取り組みについて伺う。

また、福祉サイドからも家庭児童相談員や生活困難の窓口などを通じて、身体的、精神的に困っている子供の把握に努めていく。

○ 軽油備蓄量の増量について

その他の質問

- ・新型コロナウイルスについて

市民の会
高間清一
議員



問 今年は数年に一度の大雪に見舞われ、主要幹線道路が止まってしまい、生活必需品の不足や除雪用燃料でもある軽油の入荷ができず、油不足になる事態が起きた。このことについて、3月定例会でまず主要幹線道路の確保が大切だと、他市町との連携が必要だという話をしたが、県土木も積極的に動かれ、前向きな返答をいただいている。

また、勝山市も嶺北石油組合と災害応援協定を結んでいることから、市内の石油業者に軽油の備蓄量を増やしてほしいとお願いしたところ、協力的にお話に乗っていただき、タンクの油種の変更で6万リットルの量を増やすことが可能であるとのこと。

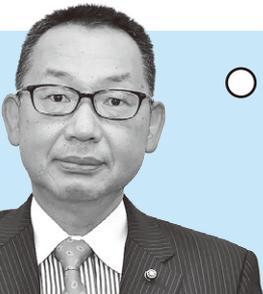
以上の経緯から、市も積極的に動いてほしいとお願いをしたが、現在の進捗状況や今後の見通しなどを伺う。

答 議員から提案を受け、災害時応援協定を締結している嶺北石油組合との間で油種の入替えによる軽油備蓄量の増量についての協議を行い、すでに前向きな回答を得ている。これにより、新たに6万リットルの軽油備蓄量の増量が見込まれ、市内給油所の軽油タンク容量の合計は16万3000リットルとなり、約2日分の備蓄量を新たに確保できる見込みとなる。

油種の入替えに伴い発生する給油所のタンクや配管清掃などの経費の一部として、今6月補正予算に計上している。

油種の入替えに伴い、灯油の備蓄量は減少することになる。市民には、降雪期前の「雪に備える」情報として、広報などで灯油の備蓄について周知していく。

新風会・公明
下牧一郎議員



○ 合理的配慮について

その他の質問

- ・DXの推進について
- ・GIGAスクールについて

問 障害者差別解消法は、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成28年4月に施行された。

この法律が施行され、「合理的配慮」という言葉が広く知られるようになったと思うが、障害者差別解消法が施行されて以降で合理的配慮の対応事例を問う。

また、「合理的配慮」が市民の皆様幅広く知れ渡っているか、市長の見解を伺う。

答 一例で、恐竜クロカンマラソンに、ろうあ者からの参加申込みがあった際、受付に手話通訳を配置した。翌年からは、手話ができる職員を配置している。

また、福祉健康センター「すこやか」の窓口には電子メモパッドを置き、筆談できるようにするなど、様々な障害のある方に対し、必要に応じて合理的配

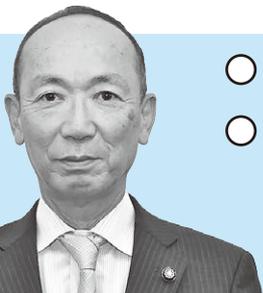
慮を実施している。

平成27年度からは、学校現場にも合理的配慮を取り入れている。具体的には、児童生徒の学習活動をサポートするため、小学校に6名、中学校に3名の特別支援教育支援員や個別教育支援員を配置したり、ユニバーサルデザインの授業に取り組んだりしている。

市民に合理的配慮への理解をお聞きしたことはないが、奥越地区障害者自立支援協議会が行った街頭アンケートによると、8割弱が障害者差別解消に一定の関心があると考えている。

障害は、
個人にあるのではなく
社会にある。

市議会
帰山寿憲議員



○ 勝山市育英基金の運用について ○ 動物愛護管理法※の施行について

※動物の愛護及び管理に関する法律

問 令和元年度決算では、基金残高と債権額の合計が約4億8000万円になる。この資金を利用し、給付額に一定のマイナス金利をつけてはどうか。

また、貸与条件を見直し、活用幅を広げる考えはないか。

答 勝山市育英基金は、利子は付さないが、卒業後に返還義務が発生する「貸与型」である。今後、少子化で貸与者・貸与額が減少し、基金および制度が十分活用されなくなることも想定される。そこで、奨学金の一部または全部を返還不要の「給付型」にすることも検討したい。

問 当市では、動物愛護管理法の対象となるような事業者や事業はないか。

個人のペット飼育でも適正な管理が求められる。行政として周知徹底すべきと考えるが、いかがか。

答 同法に基づき登録等を行っている動物取扱業者について奥越健康福祉センターに確認したところ、市内では保管業者3者、展示業者1者が取扱業者として登録されているが、繁殖販売業の届出はない。

また、同法に係る対象事業についても、勝山市では事業無しとの連絡を受けている。

市としても、同法の目的が達成されるよう、動物の愛護と適正な飼養に関し、国、県と相互に連携を図りつつ、学校、地域、家庭等における教育活動、広報活動等を通じて普及啓発を図っていく。



近藤栄紀議員
市政会



○ 宿泊施設誘致について
○ 雁が原の活用について

その他の質問

- ・新型コロナウイルスワクチン接種について
- ・今年度の除雪体制について

問 長尾山総合公園再整備計画が進められているが、今現在の状況を伺う。

答 恐竜博物館のリニューアルが2023年完成を指しているが、再整備計画は何年を指しているのか。

答 中部縦貫自動車道の県内全線開通や北陸新幹線の福井敦賀開業による交流人口の拡大、福井県が進めている恐竜博物館の機能強化を見据え、市民がゆつたりと楽しむことができ、宿泊機能や飲食物販機能、アミューズメント機能などの施設の整備を、※Park7E1方式にて検討している。昨年度の調査結果を踏まえ、本年度、事業者を公募する。本定例会中に調査結果や公募指針案等を報告したい。

※Park7E1: 飲食店、売店等の施設設置と、その施設から生じる利益を活用して、周辺の園路等の整備改修を一体的に行う者を公募により選定する制度



問 雁が原の自然公園化を提案したい。クラウドファンディングにより、一区画いくらで寄付をしていただき、オーナーとなり、花木を植えてもらい、管理していただくシステムである。

答 将来、勝山市の名勝になり、さらにキャンプ場を整えれば、人々が集まらう。恐竜博物館の機能強化や道の駅隣接地の整備、長尾山総合公園のPark7E1による整備といった重要な施策の動向や事業効果を見極めたうえで、雁が原の活用について研究していくが、再開発を見送り、自然公園化することは、重要な選択肢であると考ええる。

乾章俊議員
新風会・公明



○ 子供たちの視力低下について

その他の質問

- ・産業の活性化について

問 パソコン、ゲーム機、タブレット、スマートフォン等を多く見る生活習慣が急激に進行している。それが原因で、近くを見る時間が長くなり、遠くを見る時間が短くなって、眼の焦点をあわせるために前後する眼球が伸びることによって生じる眼軸近視が進んでいる。

答 以前から、当市の子供たちの視力低下が深刻な状況にある。直近の検査結果はどうか。今後デジタル授業が進むため、対策強化を図る必要があるが、いかがか。

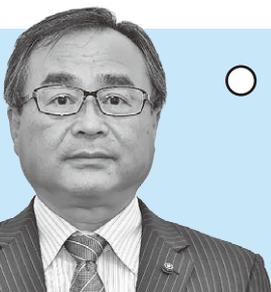
問 文部科学省の令和元年度学校保健統計調査によると、勝山市の裸眼視力が1.0未満の児童生徒の割合は、全国、県内をやや上回る結果となっている。

答 市内小中学校では、「目の健康プロジェクト」として、「目の健康を守る3か条」の教室掲示や「目のリフレッシュタイム」、※「ビジョントレーニング」など目の健康を守る運動に取り組んでいる。また、毎月発行している保健だよりで、子供たちの状況や目の大切さを家庭にも伝え、家族の協力をお願いしている。一人一台端末の学びが始まる中で、タブレット端末の利用ルールを定めるなど、目の健康に関する活動にさらに取り組むよう、指導していく。



※ビジョントレーニング: 眼球を動かして目の筋肉を鍛えること。

山田安信
議員
日本共産党



○ 中学校の統廃合について

その他の質問

・コロナ禍対策について

問 ① 勝山高校併設案は、新中学校に専用体育施設がなく「借りる」ので問題が発生する。計画3案とも無理を重ねており、問題点を検証した資料を示して説明すべき。

② 勝山では10年で30%も出生数が減り、さらに少子化が進むと、奥越3高校と「普通科の勝山高校」が維持できず、勝山高校併設の効果と必要性の前提が崩れる。

③ 市民との意見交換に向けて、新たな提案や指摘を無視せず、整理して情報提供していくべき。

④ 計画案は決定ではない、発言で不利益を与えない、計画案と異なる意見も尊重する、年度内の決定に固執しない、以上を約束すべき。

⑤ 市民参加で発展的な議論するには、市民投票で決めるべきだ。

答 ① 今年の2月、県から中高併設・連携を進める旨の方針が示されたことを受け、県教委や勝山高校との話し合いの中で、3つの候

補地案が出てきた。これらは、専門機関に調査委託した結果ではないが、県や市の技術職員を混じえて検討し、議員ご指摘のような課題についても話し合った。今後、必要に応じて専門的な検証も加え、最終的な立地場所を決定していく。

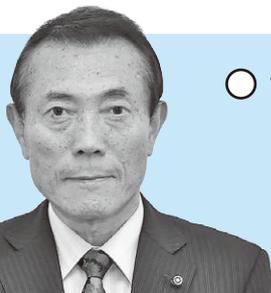
② 中学校再編案は、中高の併設・連携によって、勝山高校への進学率向上を目指す。市内だけでなく市外、県外からの入学者も視野に入れていく。

③ 新たな提案やご指摘には、真摯に対応していく。

④ 市の方針と異なる意見があっても、不利益を与えることは絶対にならない。計画決定時期についても、もっと時間をかけてという意見もあれば、早く進めるべきとの意見もある。

⑤ 中学校再編案について市民から広く意見を聞いたうえで、市議会の判断を仰ぐ進め方が妥当であると考ええる。

丸山忠男
議員
市議会



○ 令和3年1月大雪を教訓として

その他の質問

・地場産企業の支援について
・ワクチン接種について

問 ① 冬場における住宅への浸水被害は、今年も床上浸水が2件、床下浸水が9件あった。30年豪雪の際にも、下袋田区の物件が床下浸水している。

大手坂の流雪による浸水被害の原因は、市内の網状となった水路系統において、上流側での水の切り廻しにより元禄線付近の2号水路の水量が少ない状況の中、それまでに投雪された雪で2号水路が詰まり、本町地区の住宅に浸水したものである。

② 今年1月の想定外の大雪により、幹線道路や生活道路の除雪や排雪がうまく機能しなかった。

③ 毎年開催される雪害対策が求められるが、見解を伺う。

策会議は形骸化していて、現実的、具体的な事例を挙げて協議をするなど、会議内容を検討する必要性が求められていると思うが、見解を伺う。

答 ① 勝山商工会議所の西側に新たな水路を設置し、大手坂を流れる水を元禄線側の流雪溝に引き込み、さらに本町交差点の下流側に流し込む対策を行っていく。また、大手坂に流れ込む水量自体を減らす対策も実施していく。

② 県、市、勝山建設業会で協議し、協力的体制の下、主要幹線道路や物流ルート等、優先したルートから順に除雪を行っていくこととした。

③ 国・県道、市道の優先除雪や応援体制の構築による生活道路の除雪対応、高齢者宅等への除排雪支援、屋根雪下ろしの支援、水路詰まりによる浸水を防ぐ各地区との除排雪連携など具体的な雪害対策を協議し、確認していきたい。

○ 県が支給した保育士への慰労金について

日本共産党

久保幸治
議員



その他の質問

- ・学校教育について
- ・国民健康保険税の値下げについて

問 昨秋の、保育士に対し慰労金を5万円支払うという県の制度で、市内多くの保育士が慰労金を受領した。しかし、病院内保育施設の保育士は、同じ保育業務でありながら慰労金が貰えないということが分かった。

答 予算措置や支給制度の条件設定見直しなど、国、県の指示や決定を待つことも大事だが、市民住民への支援救済の素早く柔軟な対応こそが、地方自治体の大切な役目でもあると考える。

勝山市が「コロナ対応、医療保育士特別支援金」というような独自の制度を設け、県の不公平な慰労金制度の解消を提案したい。

答 事業所内保育施設を含む認可外保育施設が本制度の支給対象外なのは、県の政策的判断である。

市内には事業所内保育園が1園あるが、コロナ禍でも尽力されている職員に対して事業所から慰労していただけるよう、事業所と話をしていきたい。

一般質問Q&A

○ 高齢者の免許返納者にタクシー券とシニアカー貸与について

市政会

下道恵子
議員



その他の質問

- ・今後の新型コロナウイルスワクチン接種方法について
- ・新型コロナウイルス感染症対策として「赤ちゃん用おむつ配達便」について
- ・不要な衣類の回収ボックスについて

問 市では、65才以上の高齢者の運転免許証・自主返納支援事業として、コミュニティバスおよび京福バス勝山・大野線の「永久無料乗車券」を発行している。全国ではタクシー利用券を交付している自治体もある。

答 市は先日、高齢者用に1人4000円分のタクシー券を配布したが、その利用状況を伺う。

また、希望者には安価でシニアカーを貸与できないかも伺う。

答 バス・タクシー利用券は、5月末時点で8754人に配布し、配布枚数全体の約5%の利用があった。8割以上がタクシー利用で、新型コロナウイルスワクチン接種に係る移動での利用も多くあった。

シニアカーについては、市内の利用状況から、近距離の移動には一定のニーズがある。シニアカーの利用状況やサイクルの状況などを調査していきたい。

一般質問Q&A

○ 市役所職員の対応と各課の連携、職員の相互協力について

市民の会

富士根信子
議員



問 市役所内が明るい雰囲気にあふれ、責任ある言動、助け合い、共に働くなど、親しまれる場所になってほしい。

答 ① 職員の資質に関する市民への不適切な対応について

② 市民負担と不信感を減らすための所属課間の連携と、市職員の相互協力について

答 ① 市役所の業務範囲は多岐にわたり、1人の職員が全てに答えることは難しく、行政執行の権限や権利等の関係で責任ある回答ができない場合もある。

市民への接遇のあり方については、上司から若手職員に伝えているが、改めて職員に指導していきたい。

② 迅速かつ丁寧な対応を心がけているが、誤った所属課に取り次がないよう、窓口や代表電話で用件の詳細を確認する精度を高めていきたい。

また、市民からのお尋ねを、上司や同僚に確認したり自分で調べたりするなど親身になって対応するよう、周知徹底していきたい。

○ 地域連携型観光事業について

その他の質問
・PR能力向上について



新風会・公明
松本聖司郎 議員

問 勝山市、大野市、永平寺町の3市町全体の案内を行うチラシ、パンフレットは少なく、3市町各所を回遊する仕組みが不足しているように感じる。

20年後も継続して観光産業を維持するためにも、このコロナ禍を準備期間と捉えて、自治体の垣根を越え、満足度150%以上を目指し、巡っていただくための宿泊、案内、名所整備の強化を行うべきと強く推奨する。

市の現状、見解を伺う。

答 奥越2市と永平寺町を1つの観光推進エリアとして、3市町の官民間係者で周遊滞在型観光推進事業を実施している。その他、越前加賀インバウンド推進機構や環白山広域観光推進協議会など、様々なテーマや枠組みで近隣自治体と連携し、周遊観光を目指している。

当市における観光客の滞在時間を増やすためにも、市内に不足する宿泊施設の誘致に向けて取り組んでいく。

○ 新型コロナウイルス感染症対応の見直しについて

その他の質問
・行政サービスにLINEを使うことの危険性



市民の会
中山光平 議員

問 新型コロナウイルス対策は過剰である。40代、50代を境に新型コロナウイルスの危険性が大きく違う。(死亡率は、40代以下が0.1%に対し、50代は0.6%、60代が2.5%、70代が6.8%、80代以上は14.8%)つまり感染症対策は、年齢別に設定するべきだ。でなければ経済的損失や学習機会の損失が多くなる。また自粛に関しては、最初期のみ効果があることはデータ上明らかだと学者等も指摘していて、現在では効果がない。私が示したデータの一次資料は、厚生労働省が公表している。このような確かなデータを明らかにし、メディアによる誤解を解き、事実に基づいた対応を要請するのが、正しい行政ではないか。

答 市民に情報発信する際は、国や県など公的機関による信頼性がある情報を、分かりやすく伝えることが最も重要と考え、今後その方針で市民への情報発信に努めたい。

また、市民へのワクチン接種計画を進める中で、その接種について個人個人がしっかりと判断していただけるように努めていく。

議会広報特別委員会では、`見やすい議会だより、に取り組んでいます。

議会のなぜ?にお答えします

「政務活動費」

政務活動費とは、地方議会の活性化を図るため、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付することができる金銭的給付のことで、地方自治法により制度が設けられています。

勝山市議会では「地方自治法第100条第14項、15項、16項」、「勝山市議会政務活動費の交付に関する条例」の規定に基づき、会派(1人の場合を含む)に対して議員1人あたり月額3万円が交付されています。

なお、未使用額については、市に返還されます。

※本紙2ページ参照



● 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案6件について4件を可決し、2件を承認しました。また、陳情1件を不採択としました。

◆ 除雪機の導入について

今冬の大雪において、ジオアリーナ等に設置している中型除雪機を活用して生活道路等を確保することができたことを踏まえ、避難所や公共施設、生活道路の除雪対応を集中して行うため、新たに除雪機を購入したいとの説明がありました。

配備施設については、公民館、小中学校、公共施設等拠点避難所とし、使用者は施設職員や市職員とする等の基本運用が示されました。

委員からは、**施設場所や管理、燃料代、事故対応等の運用基準をしっかりと作るべき**との意見があり、理事者からは、その方向で進めていきたいとの回答がありました。

◆ 勝山市附属機関の設置に関する条例の一部改正について

理事者から、勝山市における公共交通のあり方に関し、体系的かつ総合的に審議企画する附属機関を設置したいとの説明がありました。

改正のポイントは、附属機関に「勝山市生活交通地域協議会」を追加するものです。協議会は、学識経験者や公共交通機関関係者、社会福祉関係者、市民代表、関係機関等で構成され、今後「地域公共交通計画」を策定していくとのことです。

委員からは、**従来からある「勝山公共交通会議」との違い**についての質問があり、理事者からは、設置の根拠法令が違うが、今後統合していく手続きも含めて考えていきたいとの回答がありました。

● 建設産業委員会

審査の結果、議案3件を全て可決しました。また、陳情2件について1件を趣旨採択とし、1件を採択としました。

◆ 損害賠償の額を定めることについて

昨年12月に、野向町北野津又の農業集落排水処理区域内にある汚水中継ポンプが動かなくなり、隣家に汚水が溢れて家財を汚損させたが、その損害賠償の額を163万9,000円とするものです。

事故の原因は、ポンプ所制御盤内の通報装置のバッテリーが切れており、ポンプの異常事態の把握と確認が遅れたことによるもので、理事者からは、今回の事故をうけて公共下水道52ヶ所と農業集落排水46ヶ所全ての通報装置の確認を行い、不具合のある箇所については、順次対応していくとの報告がありました。

委員からは、「**予防保全**」に努めるようにとの意見がありました。

◆ 勝山市道路線の認定について

3月定例会で陳情を採択した本町2丁目地係の1路線を生活道路として維持管理するため、また道の駅隣接地内の2路線を道の駅隣接地の一体的開発事業にて維持管理するため、市道に認定するものです。



3月定例会において道の駅隣接地を視察した様子

● 予算委員会

◆ 子育て世帯生活支援特別給付金

予算額 1,100万円(全額国庫負担)

対象が令和4年2月までに生まれた子となっていることについて、理事者からは、新生児の届けの登録は翌月(3月に生まれた子は翌年度)に対象が移るのが通例で、期間を短く設定している訳ではなく、前回、市が行った給付金の対象から漏れた新生児もこれでカバーできるとの説明がありました。

その他、委員からは、この給付金を勝山で消費していただけるような工夫をしてほしいとの意見もありました。

◆ 道の駅機能強化事業費

予算額 6,826万6,000円

終息の見えないコロナ禍において、従来の観光政策や企業誘致政策の方針の変更も考えられることから、産業団地計画の縮小や工事計画の見直しといった部分に質問する委員と、市の発展を願い、計画推進を容認する委員の間で議論が交わされました。

その中で、この計画に関し、市民にもっと情

審査の結果、議案1件を可決し、議案2件を全て承認しました。

報を出していくべきだとの意見もありました。

◆ 勝ち山飯お座敷体験事業

予算額 400万円

実施期間 8月31日まで

イベント等の激減による需要減少や若者の利用促進を目的として、市内の会席料理を提供する21店舗を対象に、市民が消費した料理(飲み物は対象外)の金額の一部を市が負担する事業で、期間は7月28日から翌年2月28日までとしたいとの説明がありました。

委員からは次のような意見が出ました。

- ・多くの利用が見込まれる補助事業であり、この予算額では、期間の途中で尽きてしまうのではないかと。
- ・現在の制度設計では若者を呼び込めない。
- ・若者の感染リスクが軽微である情報などを周知しなければ、動けない風潮がある。

これらを受けて、理事者からは、本事業の目的はお座敷文化の維持が主であり、実施期間も7月1日から8月31日までの2ヶ月間としたいとの説明がありました。

● 議会改革特別委員会

議会広報については、議会情報をできる限り早く市民の皆様へ伝えるため、Facebookの活用を認めました。

また、タブレットを導入して完全ペーパーレス化を実施していますが、タブレット機能の充実など、今以上に使い勝手を良くしたい旨の提案が多く出ました。

議員定数については、市民から信頼され期待される議会のあり方等について整理をする中で、各種団体との意見交換会に臨み、議員間の協議により、議員定数の結論を出していきます。

● 総合計画特別委員会

理事者から、2月に実施した市民アンケートの分析結果の報告があり、また7月から8月にかけて開催予定の市民意見交換会や市内在住の中学生、高校生へのアンケート実施等、今後のスケジュールについての説明がありました。

委員からは、「意見交換会等には若い方を含め多くの市民に参加していただけるよう、実施方法を工夫すべき」、「総合計画は市の最上位計画。各課にわたる共通課題の再検証が必要」、「人口減少の観点だけでなく、関係人口を増やす施策を推進すべき」といった意見がありました。



「お殿様のお墓がある開善寺」

開善寺は、勝山藩主の菩提寺で、本堂、庫裏、鐘楼門があり、元禄4年（1691年）、沢町1丁目に建立されました。境内には、市の指定文化財になっている初代小笠原貞信から8代長守までの歴代藩主の墓所があります。

現在、本堂と西側にある持仏堂が老朽化し、維持、保全が難しい状態になっています。

このまま朽ち果ててしまわないよう保守保全し、人々が集い、活動できる場所になるようお願いいたします。

（富士根 信子 記）



市内のボランティアによる本堂の清掃活動の様子

議会日誌

- 4月22日(木) 福井ふるさと茶屋「平泉寺 旧青木家」落成式
- 28日(水) 議会運営委員会、全員協議会、議会広報特別委員会
- 5月21日(金) 土地開発公社理事会
- 28日(金) 全員協議会、議会広報特別委員会
- 6月 8日(火) 本会議、全員協議会、議会広報特別委員会
- 14日(月) 本会議（一般質問）、議会運営委員会
- 15日(火) 本会議（一般質問）、議会広報特別委員会
- 16日(水) 総務文教厚生委員会
- 17日(木) 建設産業委員会
- 18日(金) 予算委員会、議会広報特別委員会
- 21日(月) 議会改革特別委員会、議会運営委員会、総合計画特別委員会、建設産業委員会
- 24日(木) 議会運営委員会、全員協議会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会、本会議
- 7月 3日(土) 社会を明るくする運動式典
- 7日(水) 議会広報特別委員会
- 10日(土) 勝山市戦没者追悼式
- 12日(月) 議会広報特別委員会
- 13日(火) 夏の交通安全県民運動市内巡回
- 16日(金) 土地開発公社理事会、建設産業委員会

永年勤続表彰



山田安信議員が、北信越市議会議長会、及び全国市議会議長会から、議員在職25年以上の特別表彰を受けられました。

編集後記

民間からは遅れをとっておりますが、勝山市議会でも情報化社会に対応するためSNSの利用などIT化を進めております。今後もよりわかりやすく、伝わりやすく鋭意努力致します。（中山 光平 記）

議会広報特別委員会：委員長 下道恵子 副委員長 松本聖司郎 中山光平 富士根信子 久保幸治